

ストック専門委員会の課題と今後の予定について

1. スtock推計の課題

わが国の国民経済計算(SNA)におけるストック推計は国富調査計数をベンチマークとするベンチマークイヤー法(BMY)により推計している。

しかし、国富調査は昭和45年(1970年)を最後に実施されていないことから、精度面で問題があることが、各方面から指摘されている。

2. 基本計画部会による提言

統計委員会の基本計画部会の「公的統計の整備に関する基本的な計画」(基本計画)に関する答申(案)(平成20年11月)では、「国民経済計算の推計枠組みに関する諸課題」と「国の基盤の実情を明らかにする統計情報の把握(ストック統計の整備)」および「17年基準改定関係」に課題が示されている。

3. 国民経済計算部会での課題の整理

第3回国民経済計算部会(平成20年10月15日開催)では、国民経済計算関係の課題を配布資料2により、各専門委員会に割り振った。「参考」参照。

4. スtock専門委員会での課題の検討について。

(1) 課題の種類。

- ① 2008SNA への取り組み。(19件)
- ② 基本計画関係課題((項目1)推計枠組関係と(項目6)ストック統計整備関係)(10件)
- ③ 17年基準改定関係 (1件)

(2) 結論を出すべき時期(目標)。

- ① 2008SNA 案件に関しては、平成22年基準改定を待たずとも、可能なものから平成17年基準改定において対応する。
- ② 基本計画関係諸課題の目標時期は、資料3-2の「検討スケジュール等」欄に記載。
- ③ 17年基準改定関係は21年秋。

5. スtock専門委員会での検討の仕方について。

- (1) 課題の論点と対応の方向性に関するメモを作成。
- (2) 専門委員会での議論。
- (3) 議論を踏まえ、論点を整理し、対応の可能性を検討する。

6. ストック専門委員会の凡その開催時期と、検討内容。

(開催頻度は、四半期に1回程度)

- | | | | |
|-----|-------------|-----|--------------------------------|
| (1) | 20年 11月 27日 | 第1回 | 新しい資本統計整備の進捗、検討課題と検討方針 |
| (2) | 21年 2月 | 第2回 | 2008SNA 個別案件、(17基案件)自社開発ソフトウェア |
| (3) | 21年 5月 | 第3回 | 新しい資本統計整備の進捗、2008SNA 個別案件 |
| (4) | 21年 8月 | 第4回 | 2008SNA 個別案件 |
| (5) | 21年 11月 | 第5回 | 新しい資本統計整備の進捗、2008SNA 個別案件 |
| (6) | 22年 2月 | 第6回 | 2008SNA 個別案件 |

...(つづく)

(以上)